



育休パパの

過ごし方

2児のパパ(30代)
2人目が生後2か月の時に
育児休業を取得



2009年、男性も子育てしやすい社会の実現に向けて育児・介護休暇法が改正されました。男性が育児休業を取りやすい環境づくりが進められる中、男性の育児休業取得率が少しずつですが上昇しています。今回、実際に育児休業を取得したパパの一日を覗いてみました。

育休パパのある日の様子



育児休業を終えて

長いようであつという間の1か月。日々成長していく0歳の時期に育児休業を取得できたことは大変貴重な経験でした。身近に男性の育休取得者がいなかったため、具体的な生活のイメージができなかったのですが、子どもに関わる時間を多く取りたいと思っていても、家事にかかる時間が多く、妻の大変さが身をもってわかりました。

眺めているだけでも可愛い乳児期はあつという間です。夫婦で子育てを楽しめるように家事育児を共に行うことで家族の絆も深まることと思います。

保育園の送り迎えで
パパ友が出来ました。

保育園の送りの時間は子どもとの
おしゃべりタイム。
癒しの時間で仕事のパワーになる。

家事・育児すべてを
分担した二人三脚の育児で
信頼関係が深まった。

先輩パパママたちの声

(厚生労働省 WLB HANDBOOK より)

子育てはハプニングの連続。
状況判断力、瞬発力、危機管理能力、
柔軟性を身に付けるには、
どんな研修より効果的。

夫が育児休業中に
家事・育児を体験して
いるのでその大変さを
わかってきている。

子どもと手を繋いで
歩いていると
人間らしい何かを
取り戻した気がした。



ワンポイント
アドバイス

男性の育休は、ハードルが高く感じる人も
いると思います。取得する期間、時期は職場や
家族と相談し、周りの状況が整ったら是非育
休の取得を検討してみたいかがでしょうか？

